

八千代医療センター新棟計画

千葉県においては、平成 23 年 4 月 26 日に千葉県保健医療計画が公示され、千葉県医療計画において千葉県全体で 3,362 床の不足が示されました。

東葛南部 2 次医療圏人口 171 万人（八千代市、船橋市、習志野市、市川市、浦安市、鎌ヶ谷市）においては 473 床不足していることとなりました。

八千代医療センターとしては、理念であります高機能・先進医療を具現化するため、また千葉県が求める救命救急医療、周産期医療、小児医療、高齢者医療、そしてがん、脳卒中、心筋梗塞、在宅医療支援などの医療事情を勘案し、千葉県に対し、140 床の病床と I C U 6 床を含む合計 146 床の増床を申請いたしました。

この結果、千葉県より 146 床増床の承認をいただき、平成 27 年度末を目標に増床をする運びとなりました。27 年度末には 501 床病院となる予定です。

現在、地域に求められる医療を提供できるよう基本設計に取り組んでいるところであります。

既存棟には、小児医療センター、総合周産期医療センターを中心とした病棟を、新棟にはがんセンター、将来は救命救急センターを設置したいと考えております。

また、新棟には、当センター敷地内に設けることとしておりますが、災害拠点病院として急性期医療を提供するため、今後予測される大規模災害にも対応出来るよう救急搬送に必要なヘリポートを設ける予定にしております。

大まかな予定といたしまして

平成 26 年秋には増床棟工事に着工し、平成 27 年末には竣工と考えております。

平成 26 年 4 月

東京女子医科大学

附属八千代医療センター